



喜び、感謝、夢を胸に——笑顔はじける

はたちのつどい

はたちのつどいを1月11日に開催し、出席者203人が色とりどりの振袖や真新しいスーツに身を包み、旧友との再会に笑顔をこぼしました。

式典では、代表の及川 佳倫よとくさんが「5歳の時に体験した東日本大震災。当時の記憶は今でも鮮明に覚えています。大人たちは不自由を感じさせないよう私たちが元気に育つ環境をつくってくれました。将来の夢は、父のような誰かのために必死に頑張れる教師になることです。支えてくれた地域の皆さんや友人の顔を思い出し強く生きていきます」と力強く二十歳の抱負を述べました。

この他、中学・高校時代の恩師からのビデオメッセージ、郷土芸能披露などで会場は和やかな雰囲気になりました。

これから、それぞれの道を選んで歩んでいく皆さんは、決意を新たに未来への一步を踏み出していくことでしょう。お世話になった人々への感謝の思いを胸に、夢に向かって羽ばたく皆さんのこれからの活躍を応援しています。



当日の写真はこちらからも